

三菱地所グループ／SBTネットゼロの取り組み

✓長期経営計画2030/社会価値向上に向けた取り組み

- 長期的にサステナブルにステークホルダーに対して価値提供を行うため、2020年4月から「長期経営計画2030」を推進。
- 当社グループの基本使命と持続的成長の実現に向け、「社会価値向上戦略」と「株主価値向上戦略」を両輪に据えた経営を実践。

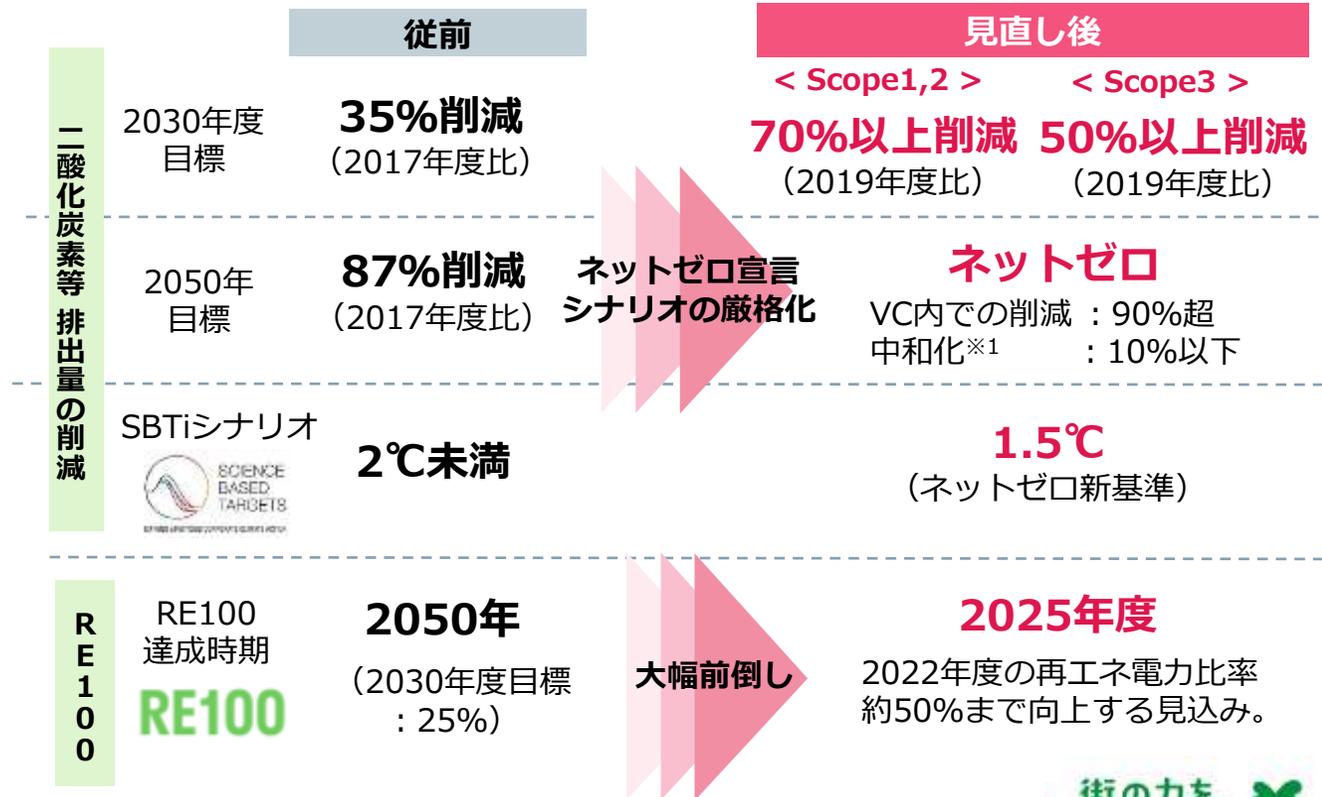
【当社グループの基本使命】まちづくりを通じた真に価値ある社会の実現



当社グループの基本使命と持続的成長の実現に向け
社会価値向上と株主価値向上の戦略を両輪に据えた経営を実践

✓SBTを見直しネットゼロ認定取得

- CO2 等温室効果ガス排出削減目標をSBTiのネットゼロ新基準に沿った目標に引き上げ
- 2022年6月に国内企業初の認定取得。
- RE100の達成時期を大幅前倒し。



^{*1} 削減しきれない「残余排出量」を森林由来吸収や炭素除去技術等の活用により中和



三菱地所グループ / SBTネットゼロの取り組み

✓ SBTネットゼロ認定取得までの経緯

- ・従前のSBTに基づく目標は2019年3月に公表していたが、その後の日本政府方針の決定や、グローバルな情勢の変化を受けて、当社としても、2050年にCO2排出ゼロを目指す姿勢の打ち出しが求められていた。
- ・不動産業界における気候変動対応のトップランナーとして、この課題に対応するには、**前提や条件の変更なく目標値だけを事後的に修正するのではなく、**基準年の変更や「2℃」から「1.5℃」への目標の見直しと併せた形で、SBTiのネットゼロ新基準（The Net-Zero Standard）に挑戦すべきであり、そしてその姿勢が長期経営計画で目指す社会価値向上につながるものだと考えた。
- ・新基準の発表後すぐに目標を上方修正、速やかに手続きを進める事で、**国内企業として初めてのSBTネットゼロ新基準に基づくSBT認定を取得した。**

SBT定義ネットゼロ / 一般的なネットゼロと何が違うか？

一般的な
ネットゼロは、

中間目標の
野心度が
1.5℃水準を
満たさない

Scope3
定義がまちまち
&
目標に含まれない
ケースも散見

**どうしても削減
しきれない排出**
をどうするのか
言及がない

etc..

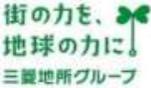
SBTスケジュール / 当社スケジュール

	21/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	22/1月	2月	3月	～6月
SBTスケジュール			検証プロトコル	ガイダンス公表、パブコメ		ネットゼロ基準発表						
当社スケジュール		サステナビリティ委員会					目標設定		サステナビリティ委員会		リリース	SBTi認定

SBTネットゼロ / 日本企業初の認定



報道関係各位



2022年7月26日

三菱地所株式会社

CO₂等温室効果ガス排出削減目標について 日本初 SBT ネットゼロ認定を取得

三菱地所株式会社（以下、「三菱地所」）は、脱炭素社会の実現に向けて2022年3月に制定した新たなCO₂等温室効果ガスの排出削減目標^{※1}について、SBTi（The Science Based Targets initiative）より、SBT ネットゼロ（science based targets）の認定を取得したことをお知らせいたします。

これにより、三菱地所グループのスコープ1、2の2030年迄の排出削減目標が1.5度シナリオ脱炭素経路に整合したものであり、スコープ1、2、3全体を含めた2050年迄の排出削減目標がSBTiのネットゼロ新基準に合致したものと認められたこととなります。

なお、SBTiが昨年10月に発表したネットゼロ新基準に沿ったSBT認定の取得は全ての業種を通じて日本初です。

■2022年3月に制定した新たな排出削減目標とネットゼロ宣言

基準年 2019年度の総排出量に対して、自社グループのバリューチェーン内で以下の通り総量を削減

2030年度までに スコープ1、2の合計を70%以上、スコープ3を50%以上削減

2050年までに ネットゼロ達成
(スコープ1、2、3とも90%以上削減。残余排出量は中和化^{※2}。)

